



★令和4年度高原中学校の学校経営方針

「ふるさと高原を愛し、未来を創る豊かな人間性とたくましい実践力をもった高原中生を地域とともに育成する」を令和3年度より学校教育目標に掲げ、



情熱と誠実さ、品格の気概を持ち、「チーム高原中」一丸となって目標の具現化を図っていきます。「人間性を豊かにすること」(人間力)、「主体的・創造的に学ぶこと」(実践力)に重点を置き、特に本年度は、「つなぐ」をキーワードに教育実践に取り組み、地域・生徒・保護者の願いに応え、地域に夢を与える学校を目指します。一人一人の子どもは「無限の可能性を秘めた、かけがえのない存在」です。本年度もさまざまな取組を通して、子どもたちに如何なる困難にも対応できる知性(学びをつなぐ)と人間性、他者との関わり(人と人をつなぐ、地域とつなぐ)を大切にしながら自走できる力(自分で意思決定を行い行動を起こす力)を培い、子どもたちが自分の未来を切り拓くことができるよう、学校として最大限の努力をしてまいります。何卒よろしくお願いいたします。

★新学期 スタート！ 利他の心を！

生徒たちは、しっかりとした態度で始業式、入学式に臨み、令和4年度のスタートを切ることができました。しかし、新型コロナウイルスの感染症の影響を受け、4月19日～2日まで臨時休業(学年閉鎖)となりました。4月25日から何とか学校を再開することができましたが、予断を許さない状況です。学校は本来、学業の場であると同時に、人との関わりを通して、ルールやマナーを身に付けたり、社会性を身に付けたり、感動を味わったりする場です。学校が臨時休業等で、そのような学びが止まることは非常に残念なことです。今後もいろいろな制限がかかるかもしれませんが、学びを止めず、粛々と前進していかなければなりません。

コロナ禍、ロシア軍のウクライナ侵攻などの有事、SNSトラブル頻発する中で、今私たちが心がけるべきことは、まず無責任な言動を慎み、「利他の心」を持つことです。誹謗中傷することや、根拠のない噂話等は絶対にあってはなりません。そのような言動は、人権侵害であり、学校教育そのものの質を落とし、居心地の悪い校風につながります。

常に「利他の心」をもち、他者とつながりながら、感染症対策をみんなで実践していきましょう。

★「集団づくり」の真っ最中！

学級では、「学級開き」が行われ、学担から“どのような学級にしたいか”、“当番活動などの学級のルールは何か”が提示されました。また、各教科においては、教科担任によるオリエンテーション(授業開き)が行われ、授業の進め方、家庭学習(宅習)の仕方、ノート・ファイルの使い方等が詳しく説明されました。

各学級の担任から発行された「学級通信第1号」には、“Students First(生徒第一)”の思いが詰まっており、熱い情熱を感じました。また、「学級集団づくり」への使命感に燃えていることも伺えました。

大阪大学人間科学研究科の志水宏吉教授も「家庭、学校における子どもたちと周囲のつながり(人間関係)の格差が学力に強く影響する」と提言しています。

つまり“学力向上は、まず学級づくりから”ということになります。本校の先生方からその思いがひしひしと感じられます。

本年度は、コロナの影響で、ややペースがつかめないところがありますが、雰囲気よく流れています。必ず、良い学級・良い学年・良い学校・良い部活動になっていくと信じています。

★男子バレー 九州大会3位

3月27日、28日に行われた第39回九州バレーボール選抜優勝大会(宮崎市開催)において見事3位に入賞しました。準決勝で敗れましたが、伸びしろを感じる好ゲームでした。選手相互で声を掛け合いながら、士気を高めるシーンが随所に見られました。



★野球部 優勝！ 県大会へ

4月9日、10日に行われた全日本少年軟式野球大会西諸地区予選(緑ヶ丘球場)において見事優勝しました。接戦を勝ち抜いての勝利です。



で、技術・戦術のみならず、メンタル面の強さが勝利の要因といえます。県予選は、5月14日、15日に延岡市や日向市の会場を中心に開催されます。

★77th K-1(格闘技)九州大会 優勝(最優秀選手)

3年生の〇〇さんは4月10日に福岡市で行われた第43回K-1アマチュアトーナメント(ジュニアクラス50kg級)で優勝し、大会の最優秀選手に輝きました(4/26宮日新聞掲載)。今後の活躍が非常に楽しみです。